

立教 經濟學研究

第二十卷 第三号

昭和四十一年十二月

論 文

マルクスの地代範疇への批判に対する一反論……………井上 周 八

——新沢・華山両氏の所説によせて——

「人間の運輸」について……………井田 喜久治

流通手段の前貸と資本の前貸(中)……………久留間 健

再生産論(資本論三卷三篇)の成立について(完)……………水谷 謙 治

近代的所有権の構成と形成(四)……………宮 川 澄

——日本民法における所有権の法的性格を

めぐって——

研究ノート

勘定学説研究についての覚え書……………茂 木 虎 雄

——勘定学説研究の方法を中心として——

資 料

国際通貨基金(IMF)についての覚え書き(二)……………三 宅 義 夫

国際社会史研究所蔵

マルクス・エンゲルスの草稿および

読書ノート目録……………川 鍋 正 敏